

辰野町景観計画策定委員会 平成30年度第1回 議事録

1. 開催日時 平成30年6月4日（月）午後7時から午後9時
2. 開催場所 辰野町役場 第6会議室
3. 出席者 17名 （委員10名、町長、事務局職員3名、コンサルタント3名）
4. 欠席委員 2名
5. 協議事項
前回までの内容の振り返り、景観計画区域について、基本理念について
6. その他

開会のことば

（事務局）

本日は委員の皆様には大変お忙しいところお集まりいただき、誠にありがとうございます。

ただいまから辰野町景観計画策定委員会を開会いたします。午後9時までには終了の予定です。よろしくお願いいたします。

それでは、町長よりごあいさつを申し上げます。

町長あいさつ

（町長）

ほたる祭りまであと2週間となり、ほたるの発生が報告されています。良い祭りになってほしいと思います。

今回は平成30年度の第1回目の委員会です。多くの委員さんは昨年度から引き続きであり、今年度もよろしくお願いいたします。

景観計画については上伊那8市町村で進めてきており、辰野町も平成31年度末までに策定の予定でいます。

終了予定は9時ですが、スムーズに進められたらと思います。よろしくお願いいたします。

委嘱書の交付

(事務局)

続きまして、新しくなられた委員さんへ、町長から景観計画策定委員の委嘱書を交付します。

【委嘱書を交付】

会長あいさつ

(事務局)

ここで、当委員会の会長よりごあいさつをいただきます。

(会長)

昨年度は準備段階の活動をしてきましたが、今年度は本格的に内容の策定に入っていきます。委員の皆さん、よろしくお願いします。

協議事項

(会長)

では協議事項に入ります。説明をお願いします。

【平成29年度の活動内容等について、コンサルタントから説明】

(コンサルタント)

検討事項として、まず景観計画区域を決めたいと思います。景観計画区域とは景観計画の対象となる範囲のことですが、実効性のある計画とするため辰野町全域を区域としたいと考えています。近隣市町村も全域としています。景観計画区域は辰野町全域でよろしいでしょうか。

(会長)

異議はありますか。

【異議なし】

(コンサルタント)

それでは、区域は全域といたします。

次に基本理念についてです。景観計画の基本理念は、町全体で共有する、景観の目指す姿を表したものです。定めなければならないと決まっているものではありませんが、ないと計画の方向性がうやむやになってしまいますので、定めるということによいでしょうか。

(会長)

個人的には、町の総合計画に使われている文言を盛り込んでどうかと思っています。基本理念は入れるということによいでしょうか。

【異議なしの声】

(コンサルタント)

基本理念を入れることで決定しました。近隣市町村の基本理念は、キャッチフレーズのように短いもの、箇条書きの長いもの、中間のものがあります。

【資料を使い、基本理念の考え方を説明】

【休憩】

(コンサルタント)

それでは再開いたします。今までの部分で、質問はありますか。

(委員③)

前文があり、基本理念まで長いと冗長では。基本理念はキャッチフレーズのような形のものがいいのではないのでしょうか。

(委員⑧)

キャッチフレーズでは理念として成立しないのではないのでしょうか。前文を読まないで伝えたいことがわからないようでは困ります。前文はどんな町かの説明をするくらいが良いのでは。かといって、資料にあるような箇条書きは長すぎるので、中間くらいの長さがよいのではないのでしょうか。

また、景観というものを前面に出しすぎず、柔らかい表現にしてみてもは。

(コンサルタント)

他市町村では、景観ではなく風景という言葉を使っているところもあります。景観というと難しく感じるかもしれないので、そのように言い換えてもよいと思います。

(委員④)

キャッチフレーズがいいと思います。しかし、辰野の場合は、町の状況から多少長くなりそうです。辰野は上伊那でもはずれのほう、山が身近で歴史も長いので、そういった内容を入れていきたいです。

(コンサルタント)

内容として、田園は外せないと思います。山林、河川、歴史文化も大切な部分です。

いままでのご意見から、箇条書きにはしないということによいでしょうか。

【異議なし】

(コンサルタント)

では、箇条書きでない形にしたいと思います。キャッチフレーズにするか、ある程度字数のあるものにするかは、今後の検討で決めたいと思います。

次に、基本理念に盛り込みたい内容や言葉を、順番に聞いていきたいと思います。

(会長)

日本中どこに行っても、同じチェーン店が並ぶ同じ景観になってしまっているのので、それぞれの地域らしさを出していきたいと思います。

町の総合計画から、「住んでみたいまち」「帰ってきたいまち」等を入れたいです。

(委員①)

「城前の桜」「ほたる」といった、身近な自然を感じるものを入れたいです。

(副会長)

子供のころに遊んでいた風景が、大人になっても残っていることを目指したいです。

(委員②)

緑を大切にしたいです。地区別懇談会の意見でも耕作放棄地の問題があがっていましたが、長野県は全国的に見ても耕作放棄地が多いです。農地を保全し、人の営みによって形作られる緑の景観を守っていききたいと思います。

(委員③)

田園があって山があると思うので「里山」、またはそれを感じるワードを入れたいです。里山は、枝垂れ栗や荒神社、蛇石に代表されるような場所ですが、都市部の人からは特に魅力的に感じられる地域だと思っています。

(委員④)

辰野は町も山も一体となって存在することが魅力の一つなので、そこを大事にしていくという意味で「街道」という言葉を入れたいです。

(委員⑤)

やはり「ほたる」を入れたいです。ほたるがいるというのは、自然環境がいい証拠で、そういった環境で生活するのは体にもいい。それが「住みたいまち」につながると思います。

(委員⑥)

自然に溶け込んだ風景、自然に囲まれた風景、歴史文化遺産といった内容を盛り込みたいです。

(委員⑦)

すでに出た意見ですが、「ほたる」や「里山」を入れたいです。辰野といえはほたるですし、名物や名所を基本理念に載せるのがよいと思います。また、里山という優しい表現が、景観にはぴったり合うと思います。

辰野は外から遊びに来る場所というより、住むのによい町だと感じています。辰野に住み、外に出かけるにはとても便利です、これからも住み続けたいと思っています。

(委員⑧)

事柄として、以下を盛り込みたいです。

自然、風土、歴史の中で育まれた個性的な美しい景観を認識し、その魅力や価値を次世代に継承していく。

豊かな自然を活かした生活環境の形成と地域活力の向上を目指す。

自然を守り、人材を育み、生涯快適に暮らせる町を目指す。
また、キーワードとして、以下を盛り込みたいです。
四季折々の情景が住む人に潤いと安らぎを与え、訪れる人には感動を与える。
住む人達の暮らしの営みが映し出される里山や田園の風景。
緑多き山々に囲まれた市街地の暮らしと自然が輝く魅力ある交流の町。
小野宿問屋等の歴史文化を顕在化し、新しい魅力を再確認する。
はたるの里らしくおもてなしを感じさせる風景づくりを進める。

(建設水道課長)

「日本の真ん中」や「集える場所」という言葉を入れたいです。

(町長)

町外の方から、大城山からの風景をほめられることがあります。町民は普段あまり意識しないですが、町外の人から見ると、やはりいい風景なのだと思います。

辰野は以前は「伊那谷の玄関口」と言われていました。ある人に、現在の辰野は「伊那谷の奥座敷」だと言われました。この言葉は気に入っています。

(コンサルタント)

辰野は伊那谷の中では谷が狭いが、その分自然が近く、自分の住んでいる場所がしっかり見えるという特徴があります。

今回の会議で理念、前文を決めていきたいと思います。たたき台になるものを会議前に各委員へお送りするので、よろしくをお願いします。

その他

(事務局)

次回開催日の都合はいかがでしょうか。

【7月18日（水）午後7時からに決定。】

閉会

(事務局)

スムーズな進行ありがとうございました。以上をもちまして、本日の景観計画策定委員会を閉会させていただきます。ありがとうございました。